

## 平成 29 年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況①

アドバイザー：郡司島宏美

実施主体：松山市

開催日時：平成 29 年 4 月 24 日（月）19：00～21：00

開催場所：松山市中央公民館 4 階大ホール

案件名称：第 2 回 松山駅周辺地区 景観に関する意見交換会

助言概要：景観計画素案について

- ・景観計画素案の位置付の説明や内容解説
- ・駅から降りた歩行者の目線を意識した景観が大事
- ・建物低層部を開放的なデザインにして賑わいを外に見せることが大事
- ・色見本の小さな範囲でみるとそれほど影響がないように見えても建物のように大きな範囲でみると圧迫感が出てくるため、色彩の基準を設けることは大事
- ・景観まちづくりは時間が掛かるため、景観計画の継続的な取り組みやその先のより良い景観まちづくりの展開が大事

## 平成 29 年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況②

アドバイザー：郡司島宏美

実施主体：久万高原町

開催日時：平成 29 年 5 月 30 日（火）19：00～20：30

開催場所：久万高原町役場 2 階大会議室

案件名称：久万高原町景観計画勉強会

助言概要：「久万高原町の魅力を伸ばす景観まちづくり」の題目で講演

- ・景観資源を魅力的な景観にするには、誰が何をすべきか。
- ・他市の事例等を紹介し、久万高原町ではどのようにすべきか。
- ・まちのイメージのあったルールを育てる。

## 平成 29 年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況③

アドバイザー：郡司島宏美

実施主体：松山市

開催日時：平成 29 年 10 月 31 日（火）19：00～21：00

開催場所：三津浜支所 2 階大会議室

案件名称：三津浜地区景観まちづくり勉強会（第 7 回）

助言概要：【三津浜緑地について】

この場所は、地元のみなさんが日常的に利用する遊歩道としての整備を考えるのか、地元以外の様々な方々に来ていただけるようなイベントなどの事業ができる公園としての機能を持たせるのかなど、どのような整備をするのか、目的を明確にする必要があります。

緑地整備の際には、たとえば高齢者が健康を維持できるスポットを設けて、地元の高齢者の散歩コースにするなど、何か特徴をつくることも重要です。

【市道三津浜 41 号線】

以前、私も景観バスツアーで、この三津浜最古の道を歩きました。歴史や物語性のあるこの道の特徴づけるためには、道路や建物のハード整備も大変重要ですが、物語のある道としてアピールするためのソフト対策の実践も必要です。

例えば、灯籠のようなものを家の前に出すということであれば、沿道の住民の方々が一緒に実践することが出来ますし、そのことで、まちの人々のハード整備への関心も高まると思います。

## 平成 29 年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況④

アドバイザー：羽藤英二

実施主体：愛媛県

開催日時：平成 29 年 11 月 15 日（水）13：30～16：00

開催場所：松山市子規記念博物館 4 階講堂

案件名称：えひめ景観シンポジウム

講演概要：「えひめの風景づくりとその実践」の題目で講演

- ・フランスでは国策で高速道路を建設する際に建設費の 1%分を景観計画に充てている。
- ・景観や風土を守り育てることを通じ地域づくりを考え直していくべき。

## 平成 29 年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況⑤

アドバイザー：田中明美

実施主体：愛南町

開催日時：平成 30 年 1 月 30 日（火）13：30～16：40

開催場所：道の駅 やすらぎの里 大ホール

案件名称：愛媛県景観形成推進会議研究会

講演概要： 建築士の観点から自身が訪れた鳥取県を事例に、観光客に観ていただく建築デザインとはどういったものか、古民家等の町並み景観をどう見せるべきかについて

## 平成 29 年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況⑥

アドバイザー：郡司島宏美

実施主体：松前町

開催日時：平成 30 年 2 月 27 日（火）19：00～20：15

開催場所：松前町役場 3 階大会議室

案件名称：町の魅力を活かす景観まちづくり講習会

講演概要：・景観法の概要と最近の景観行政について

- ・景観とは
- ・景観の様々なスタイル
- ・地区の景観特性を探る
- ・景観整備でまちはどのように変わるのか
- ・景観まちづくりは「まち育て」

## 平成 29 年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況⑦

アドバイザー：郡司島宏美

実施主体：松山市

開催日時：平成 30 年 2 月 20 日（火）19：00～20：10

開催場所：三津浜支所 2 階大会議室

案件名称：三津浜地区景観まちづくり勉強会(第 8 回)

講演概要： 三津の渡し舟の乗り場周辺へと導く市道は、生活道路であるって  
いるところが面白いと思います。行って見て見つけられるということ  
があるということが良いと思います。乗り場周辺にたまり場があ  
って、そこでどこがこの地域の財産かということをアピールでき  
るとよいと思います。

一番重要なことは、そこに何を求めているのか、地域の皆様の合意  
が必要だということです。そこに求めているものを整備しなかったら  
どうなるのか考えていただきたいです。

道路整備を進めるには、公共の力が必要ですが、景観形成は住民の  
方々の力も含めて、トータルでできるものです。

どのようにその整備された場所を使っていきたいかという意思が  
あると、整備費用も確保しやすいと思います。こうしていきたいと意  
見交換できる会、場所を設けて、今後とも三津浜の良好な景観まちづ  
くりを進める上での一歩にしてもらいたいと思います。